

山形県男女共同参画センター

CHERIA チェリア

vol. **41**
2014.Winter



CONTENTS

- ▶特集
チェリアフェスティバル山形2014

- ▶平成26年度
「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」受賞者

- ▶平成26年度
山形県相談機関実務者研修会

- ▶地域の情報宅配便
高畠町男女共同参画計画の策定に向けて

- ▶平成26年度男女共同参画地域講座
村山地域(尾花沢)・最上地域(真室川)

- ▶チェリア塾

- ▶チェリアの仲間になりませんか?
CHERIA 登録団体紹介!

- ▶チェリア インフォメーション

特集 チェリアフェスティバル山形2014 ~いいね! だれもが主役 ささえあう未来へ~

知事表彰
平成二十六年山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰式及び活動内容発表(詳細は四ページをご覧ください)



1階ギャラリーでは8つの団体が日頃の活動の様子や男女共同参画に関する情報を展示
今年は県内の市町村からの情報提供もありました



展示発表



フリーマーケットや物品販売、体験コーナーにお茶席も。10団体がブースを出しました



ふれあいコーナー



寸劇やビデオ上映など登録団体のみなさんによる6つのワークショップ

ワークショップ



木村松子実行委員長 (BPW山形クラブ) らによるタイトルコール!



ダンススタジオプリリアンさんのキッズダンスには会場から拍手子が

オープニング

毎年この時季恒例のチェリアフェスティバル。十四回目となる今年も、実行委員を中心に、男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体・グループの活動発表や来場されたみなさんとの交流が活発に行われました。秋晴れの一日、当日は延べ三、一五六名の方が来場されました。

講演会



みんな地球家族 わかちあう仕事も家庭も喜びも

羽衣国際大学
現代社会学部准教授 にしゃんた氏

関西弁交じりの軽快な喋りと、観客との話のキャッチボールに会場は終始笑い声が！
「違って当たり前、違いを受け止めて活かしていくことが大事」「共生よりも「共笑」
笑いの中に、地球家族として生きていくためのヒントがたくさん隠されていました。
にしゃんた氏の話の「コマ」を紹介いたします。

「共学」。共に育ち(共育)、共に活かされる(共活)。そして最も大事なのは共に笑うこと(共笑)。今の世の中で何が問題かという片方ばかりが笑っていること。だから男女共に笑っているかどうか、家族みんなが笑っているかどうか。これが大事な物差しになってくると思いますね。

我々を幸せにする三つの壁

「共に笑いたい」とみんな思っているのに、なんで笑えへんのか。それは三つの大きな壁があるからです。壁には「心の壁」「制度的な壁」「言葉の壁」があります。思い込み、偏見、決めつけ、過信、無関心...これは心のスイッチを切っている状態。心の要因で全て決まってしまう。法律のような制度は常識的な当たり前のルール。また、言葉を通じた正しい関わり方や言葉使いは豊かな心や新しい常識を作ります。

一本の矢は折れるけど三本ならば折れない

毛利元就の有名な三本の矢。元就は自分の子どもたちに「一人だと脆いから、三人で力をあわせなさい」と助言をした話です。ところが某TV番組で検証したところ、三本の矢が折れてしまったんです。興奮した僕は妻に「三本の矢が折れたんや、どないしょー!」って言うと、彼女曰く「もっと本数多くしー」って(笑)。今生きる我々は三本で満足せずもっと本数を増やしていく必要がある、折れる度に強くなって折れにくくなりま

「違い」というのは、我々を育てるためのもの。これまでに持ち合わせてない「違い」ものが一つずつ自分の価値観の中に入れていくことによって成長していくことができる。「違い」は怖いとか嫌いとか言うためじゃなく、相対的に幸せにするために存在するんですね。つまり、対人的な違いや環境下での違いに気付いたらできるだけ多くの違いを自分の中に取り込み、その都度新しい自分につくり替えていく、更新をかけていく。これが違いとの正しい付き合い方なんです。

違いを活かす文化が日本にはある

「違い」の話をすると日本の方に時々指摘されます。「日本っていいのはね、やっぱり違いっていいものを嫌うんや」と。「違いっていいものは閉め出すもんや」と。ある時こんなことがありました。私、落語をやっているんですよ。上手くなるように、十年間近くの神社に神頼みしながら、祭ってある弁財天に落語を聞いてもらっているんです。芸事を上手になりたい言ったら、弁財天は担当大臣みたいなもんでね。そこで会った年配のお母さんが私を一方的に褒めはるんですよ。でも最後に「あんた外国人でっしやる、こんな日本の神様に」って言ったんです。僕反論したかった。「お母さん、私も外国人やけど、この神様も外国人ですよ」と。弁財天はインド人ですよ。七福神の中で日本人はえべっさん(恵比寿)だけですよ。あと三人は中国人、残りの神様がインド人ですから。日本っていう国は違いを楽しんで力に変えることがすごく上手な人たちなんです。違いを活かす、そういう文化が日本にあるんだってことを気づいて欲しいし、女性の力を活かすっていうのは日本らしさでもあるっていうふうに思いますね。

男性社会の中に女性が入るといこと

男女共同参画社会ということで女性を登用していく傾向が進んでいきます。

男性社会の中に女性が入って来て、女性のモノの考え方や見方が社会や会社に活かされてこそいいんであって、ただ雇って数だけ増えたことに満足していたら、それはただの「すみ分け」ということ。これでは不十分ですね。

共生より共笑

教育の現場でも地域社会でも最近「共生」ってよく使われていますけども、私自身若干疑いを持っています。ただ共に生きるだけでなく、共に楽しまなければなりません(共笑)。それから親子、男女共に学ぶ



平成26年度 山形県相談機関実務者研修会

山形県男女共同参画センターでは、平成十四年度より相談機関実務者研修会を開催しています。相談内容の多様化により、相談機関担当者により多くのものを学び情報を得ることや、男女共同参画の視点から相談に対応できるような研修会を開催しています。

今年度は、平成二十六年九月十九日遊学館を会場に、精神科医 医学博士 NPO法人「性犯罪加害者の処遇制度を考える会」代表理事・性障害専門医療センター長である福井裕輝氏を講師に迎え「ストーカー加害者対策」と題してご講演いただきました。山形県内におけるストーカー事案の認知件数は横ばい推移であるものの全国的には増加傾向にあり、深刻な被害も報告され、社会問題にもなっています。



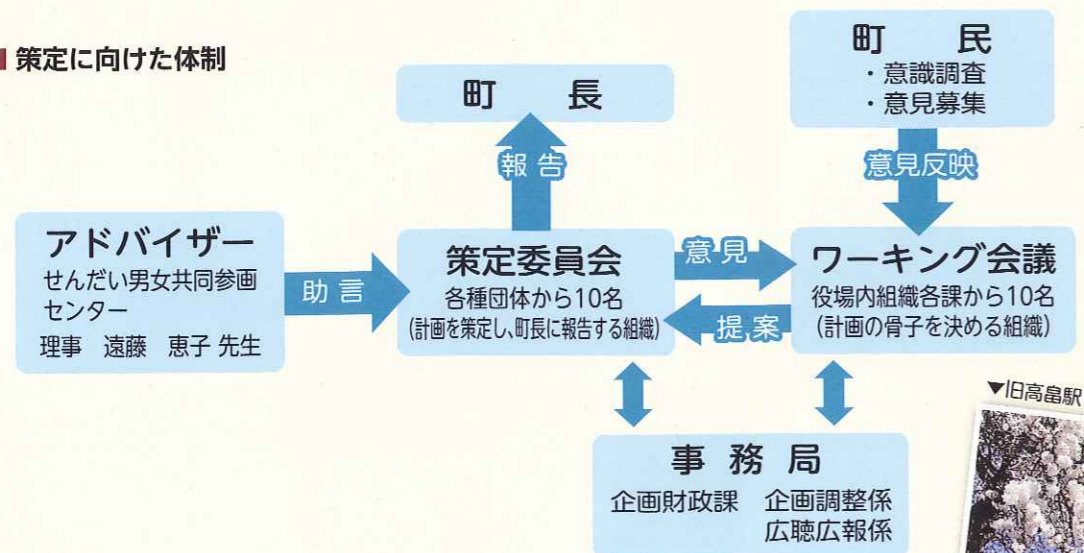
地域の情報宅配便

高島町男女共同参画計画の策定に向けて

■これまでの経過

高島町では、平成15年3月に「高島町男女共同参画いきいきプラン」を策定しましたが、このたび計画期間が終了したことから、町民の意識の変化や社会情勢の変化に対応すべく、本年度中の新たな計画策定に向けて取り組んでいます。

■策定に向けた体制



■町民意識調査について

平成15年の計画策定時に、町民の意識を把握するためにアンケート調査を実施しました。調査項目は、男女の地位や家事・育児・介護等における男女の関わり、人権に関する意識、行政への要望など多岐にわたっています。

今回も前回と全く同じ項目の調査を行うことで、町民の男女共同参画に対する意識の変化が明らかになり、住民のニーズがより反映される計画づくりが可能となりました。

平成26年度

「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」 受賞者

功労者表彰

多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

山形女性医師ネットワーク (山形市)

<活動内容>

平成17年に山形県内の女性医師の生活と仕事の支援を女性医師が自ら行うという目的で、女性医師有志で結成。結成後は、若手女性医師や女子医学生・男子医学生を含めた交流会等を通して、女性医師の生活と仕事の支援を行う。他にも、県内各病院の院内保育所の調査、若手医師・医学生のキャリアカウンセリングを実施。女性医師支援の制度やシステムがあっても、実際にはうまく使えないということもあり、民間の団体の立場から、医師として社会に貢献していく道をシステムとして進歩・発展させていきたいという思いで活動を続けている。

<経歴>

平成17年 任意団体山形女性医師ネットワークを発足

<受賞のことは>

10年近く活動を続けてこられたのは、山形県、山形県医師会、各病院、医師の仲間たちの多大なご協力をいただいた賜物だと思います。これからも私たち女性医師が、きちんと自らの仕事を全うでき、県民の皆様、国民の皆様への健康に貢献できるよう活動していきたいと思っています。

チャレンジ賞

仕事や地域活動など様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

田中麻衣子 (東京都)

<活動内容>

県外在住の若者たちが、山形にUターンする支援を行っている。ビジョンとして、県外在住者の人生の選択肢の幅を広げ、山形県へのUターンの促進を目指している。

都会・県外にいて、Uターンをする際のきっかけや情報不足のため、行動に移すことが困難な若者たちが多く。そういった若者たちへ、web上での情報発信やUターンのためのイベント企画を行うなど、2年前より活動している。

<経歴>

平成22年 任意団体GLY Projectを発足

平成23年 上記団体を事業化し、GLY OFFICEを設立

平成25年 GLY OFFICEからヤマガタ未来ラボへと名称変更

<受賞のことは>

日々の活動の中で、こういった賞をいただけるのは大変光栄だと思っております。実績が目に見えるものではないため、自身の活動に意義があるのだと、感じる事ができました。今後も、山形にも元氣な女性がいること、可能性があふれていることを、県外から伝えていきたいと思っております。

朝日町食生活改善推進協議会 (朝日町)

<活動内容>

長年にわたり、「男子厨房に入るべし」を合言葉とした男女の区別のない食の改善推進に努め、「男の料理の実践講座」を10年にわたり継続実施している。家庭の中にこそ、男女共同参画の基本があることを意識し、町内に発信している。

また、子どもたちが親子の食育活動を体験することで、男女における家事の助け合い意識を育み、次世代社会を担う子どもたちの男女共同参画意識の育成に積極的に取り組んでいる。

<経歴>

昭和38年 食生活改善推進員養成を始める

昭和39年 食生活改善推進活動を始める

昭和55年 朝日町食生活改善推進協議会を発足

平成12年 「男の料理実践講座」を継続して実施

<受賞のことは>

食を大切にすることは、自分と家族の健康を守ることであり、将来の子ども達の心身の成長を支える大切な役割であると感じております。細く長くをモットーに続けていきたいと思っております。本日はありがとうございました。



マリンバ ピアチェーレ (山形市)

<活動内容>

市民の皆様楽しんでいただけるコンサートはもとより、マリンバ演奏を通して、子育て支援や子どもの情操教育等の社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

今年で4年目となる、山形県では例の少ない0歳から参加できるコンサート「音楽と絵本の贈りもの」を開催。それにあわせて「赤ちゃんサロン」を設け、母子の交流や保育士による各種の子育て支援情報を提供している。音楽を楽しみながら、孤立しがちな育児中のお母さん方の不安感、負担感を解消すべく環境整備に取り組んでいる。

<経歴>

平成22年 任意団体マリンバ ピアチェーレを発足

0歳からのコンサート「音楽と絵本の贈りもの」、東日本大震災復興チャリティーコンサート、子ども向けワークショップ「マリンバであそぼう！」を継続して開催

<受賞のことは>

この度は思いもかけず、チャレンジ賞を受賞いたしました大変驚いているところです。また、私たちの日ごろの活動が評価され、大変嬉しく思っております。

多くの方々にご支援いただき受賞できたものであり、ご協力をいただいた方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後も、微力ではございますが、音楽活動による子育て支援を通して男女共同参画社会づくりに貢献していきたいと思っております。

チエリアでは、市町村や地域の男女共同参画社会づくりを推進する活動団体グループが行う講演会等の開催を支援しています。今回は村山地域講座、最上地域講座を紹介いたします。

「仕事と家庭、私たちの暮らしはどう変わるのか」

講師：TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長 杉尾 秀哉氏

期日：平成26年11月1日(土)
会場：尾花沢市文化体育施設サルナート



～人間らしくイキイキと～
コウタローの女(ひと)と男(ひと)のよりよい関係

講師：フォークシンガー・白鷗大学教授 山本コウタロー氏

期日：平成26年11月16日(日)
会場：真室川町中央公民館大ホール



尾花沢市男女共同参画地域講座が尾花沢市文化体育施設サルナートで開催され、約四〇〇人の聴衆が集まりました。
仕事一筋だった杉尾さんが海外赴任時の体験談から、慣れない環境の中では家族みんなで家事を分担するなど、男女共同参画の大切さを痛感し、その時の経験が今の仕事にも活かされていることを話されました。
少子化問題では、男性も積極的に子育てに関わり、それを企業や地域社会、自治体が後押しをする社会環境の整備がとて重要。
さらに、先進国の中でも自殺が多い日本の実態はどこかに歪みがあり、こうした社会を変えるためには男女共同参画がひとつの鍵となる大切なものであるとのこと。
この日聴講された方々にとって、男女共同参画を考える良い機会になったことは間違いないでしょう。

今年度の最上地域講座は、地域力を生かしたまちづくりを考えるという考えから、真室川町中央公民館を会場に、フォークシンガーで白鷗大学教授の山本コウタローさんを迎えて開催しました。
講演では、ご自身の豊富な経験から、年代ごとの流行歌と男女の関係の変化の関わり、互いを尊重し合う関係づくりについて、分かりやすくかつ楽しくお話しいただきました。
「相手に何かしてもらったらずらあざむき」ということ、「自分のことは自分でする」など、互いを尊重し合うために必要なことについて、簡単に語らうのが案外難しい、しかし大切なことだと熱く語られました。
講演の最後はミニライブで往年のヒット曲を披露され、会場は約一五〇名の参加者の温かい拍手で湧きました。
素敵な関係づくりを通じ、より良い地域をつくる機会となりました。

チエリアの仲間いませんか？

CHERIA 登録団体紹介！

チエリアでは団体・グループ登録制度を設けています。随時受付中！詳しくはチエリアまで！

タウベンコール

～80歳になっても元気で歌いましょう～

タウベンはドイツ語で 鳩(はと)の意、それに 八十(はと)を重ねて「80歳になっても元気で歌いましょう」と名付けられました。

発足以来、今年で45周年の節目の年になります。その間2年毎に定期演奏会を実施して参りました。演奏曲全曲(17曲～20曲)を暗譜で合唱することを伝統に、今年9月23日(秋分の日)に第23回定期演奏会を、テルサ大ホールで実施しましたが、満員の聴衆の方々と演奏する私達の心の通うコンサートになり、盛會好評の中に終了することができました。また、合唱を通して地域の文化活動に貢献することを目標の1つにしており、病院への慰問、公民館活動への参加、国際音楽の日への演奏会に出演、教会献堂100周年記念感謝の式典に献歌、山形市女声合唱祭、平和コンサート、市民合同音楽会出演など、積極的に活動しております。

合唱することは、ご存知の様に心身の健康に良い事ばかりです。姿勢、発声、呼吸、ハーモニーの響きによる感動、多くの友人とのコミュニケーション等、時には医師の奨励によるリハビリを兼ねて合唱を楽しむこともあります。メンバーの皆さんは若々しく楽しい合唱を週1回金曜日に練習を続けております。

合唱の好きな方、どなたでも歓迎致します。
一緒に歌いましょう。



タウベンコール

- 代表：飯島 富美
- お問い合わせ先：「タウベンコール」代表 飯島
- TEL&FAX：023-623-1982

国際ソロプチミスト山形



国際ソロプチミストは、1921年、アメリカ・オークランドで結成されました。女性の国際的な奉仕団体です。

地域社会と世界中で女性と女兒の生活を向上させる活動をしています。山形クラブは今期で40周年を迎えます。この間、会員の皆様のご尽力によりまして、すばらしい歴史を作ってきました。

真摯なる友情と、奉仕の尊さを、二つの大きな輪として活動致しております。チャリティー行事は、お茶会、ゴルフ大会、コンサート等を開催し、収益はすべて

社会奉仕事業や東日本大震災復興支援などに使われております。

今期は夢を生きる女性と女兒の豊かな未来をつなぐ「キャッチSOS」キャンペーンを行っています。

- 10月12日 乳がん撲滅運動 山形市役所前ピンクリボンデー運動へ参加
- 11月12日 国際ガールズデー デートDVのしおり Sクラブ4校 高等学校へ配布
- 11月29日 女性に対する暴力撤廃デー 山形駅アピカ通路でDVカード配布

継続プログラムとして

山形学園へ餅つき大会への支援、女子学生奨学金(3校)やスポンサークラブ(Sクラブ、シグマ・ソサエティー)の助成金を贈呈しております。また、山形スワンヒル留学生の歓迎は隔年おきにお手伝いしております。

私たちは、40年間顕彰事業と助成を欠かすことなく続けており、光のあたらぬ方々に救いの手をさしのべる支援をいたしております。



国際ソロプチミスト山形

- 会長：桃谷 ふみ子
- 事務局 〒990-0039 山形市香澄町二丁目10-8
- TEL：023-641-5239 FAX：023-641-5244
- メールアドレス：office@sia-yamagata.com
- ホームページ：http://www.sia-yamagata.com/

チエリア塾

「ファシリテーター育成コース」を開催しました

九月六日、七日

地域で活動している女性、またはこれから活動したい女性を対象に、庄内地区においてチエリア塾基本コースを開催しました。男女共同参画の基本の話から、コミュニケーションの大切さ・難しさや、「思ったことをカタチにするために必要な事など、いろいろな視点から学びました。地域における今後の活動に活かしてほしいです。」

二日間にわたり、遊学館において講師に伊藤由巳氏を迎え、「チエリア塾ファシリテーター育成コース」を開催しました。
会議や話し合いをどうやったらもっと良いものができるか?について学びました。グループワークを通して、ファシリテーターするための方法(体験学習の理論と技法)を習得しました。



「基本コースin庄内」を開催しました
九月十三日、十月十三日、十一月一日、三十日

チェリア de カフェ

100 回記念



毎月第2水曜日にチェリアの団体活動室をメインの会場として開催している「チェリアdeカフェ」が来年1月で100回目を迎えます。第1回の開催が平成18年の1月でしたので9年間の長きに渡り、実行委員の皆さんの企画による様々なイベントを盛り込みながら、老若男女の交流の場を提供してきました。

読み聞かせやフラワーアレンジメント、メイクアップ教室にフラダンスとイベント内容が幅広く、寸劇や朗読劇を通して男女共同参画について考えることや、フリーに語り合う井戸端会議も定期的に行ってきました。

100回目の開催を記念して**1月14日(水)**にこれまでの活動を振り返る「**大井戸端会議**」を行い、「チェリアdeカフェ」を一旦締めくくるとなりました。「チェリアdeカフェ」名物の寸劇やチェリアdeカルタに興じながら、お茶やお菓子をつまみつつ盛大に思い出話に花を咲かせる予定です。どなたでも参加できます(ただし、参加費として500円が必要となります)ので、興味のある方はチェリアまでお電話下さい。

パープルリボンプロジェクト2014 in YAMAGATA



11月12日～25日に「女性に対する暴力をなくす運動」が全国で実施されました。チェリアではこの運動期間中に、パープルリボンプロジェクトとして遊学館1Fのギャラリーを会場に、DV防止をテーマとしたパネルの展示とパープルリボンやリーフレットの配布を行いました。

パープルリボンは女性に対する暴力根絶運動のシンボルです。会場に設置したツリーは、来場された方から飾っていただいた沢山のパープルリボンのオーナメントで、プロジェクトを象徴する姿となりました。



編集後記

にしゃんたワールド炸裂いや〜講演会でこんなに笑ったのは久しぶり♪ (昌子)
今年も残すところあとわずかです。今年こそ、大掃除頑張りしたいと思います。(恵美)
チェリアフェスティバルでは、参加された方々の発表を拝見することができ大変勉強になりました。(美紀)

山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館2階)
Tel.023-629-7751 Fax.023-629-7752
相談専用電話.023-629-8007
URL <http://www.yamagata-cheria.org/>
開館時間 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜、年末年始
平成26年12月発行
編集発行 ● (公財)山形県生涯学習文化財団



【アクセス】

- JR山形駅から
バス/市役所経由路線バスで
市役所前下車、徒歩5分
タクシー/約6分 徒歩/約25分
- 自動車
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。県営駐車場をご利用ください。
(入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しください。)
ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。

チェリアのHPに
アクセスできます

